

11/3日 よりい 寄居秋まつり

【武州寄居】
宗像神社例大祭

宗像神社は、大宝元年(七〇二)に荒川の氾濫をすずめ、舟や筏の交通を護るために宗像大社・福岡県の御分霊を祀ったものと伝わっています。この例大祭は、毎年、十月第一日曜とその前日に行われ、氏子各町より山車、笠鉾がお囃子にのり華やかに曳き回されます。山車祭としての歴史は古く、江戸、文政年間には、神幸行列で現在行われているような、神輿の後に山車、笠鉾を曳く形がとられていたという記録があります。各部に施されたすぐれた彫刻や、「二本柱型」といわれる古い構造が残る点など、寄居の歴史と文化を今に伝えています。

年番 中町



一本柱を持つ他の山車を発展させた形といわれ、人形がせり上げできる構造を持っている。真っ赤な面をもつ「狸々」の人形が山車最上部に飾られている。



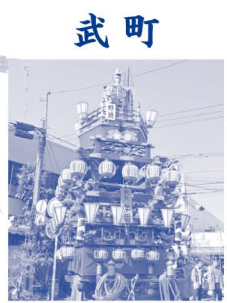
「寄居町観光協会ホームページ」
<http://www.yorii-kanko.jp/akimaturi.html>



一本柱を持つ他の山車を発展させた形といわれ、人形がせり上げできる構造を持っている。かつては「神武天皇」の人形が載っていたと伝わる。※本年度は修復のため巡回しません。



一本柱型の山車で、最上部の露盤は六角形で造られている。かつて山車最上部に飾られていた「関羽」の人形は、よりい会館の展示ホールでその堂々たる容姿を見ることが出来る。



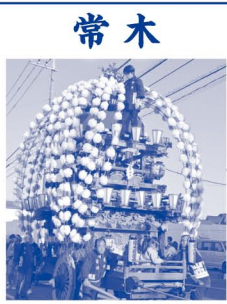
一本柱型の山車で、最上部の露盤は六角形で造られている。猿の人形「野猿」が山車最上部に飾られている。



一本柱型の山車で、最上部の四角形の露盤の上は通常、万度を飾る。人形は「誼鼓郎」が載り、平成29年に文化庁の補助金を受け、約140年ぶりの大修復が行われた。

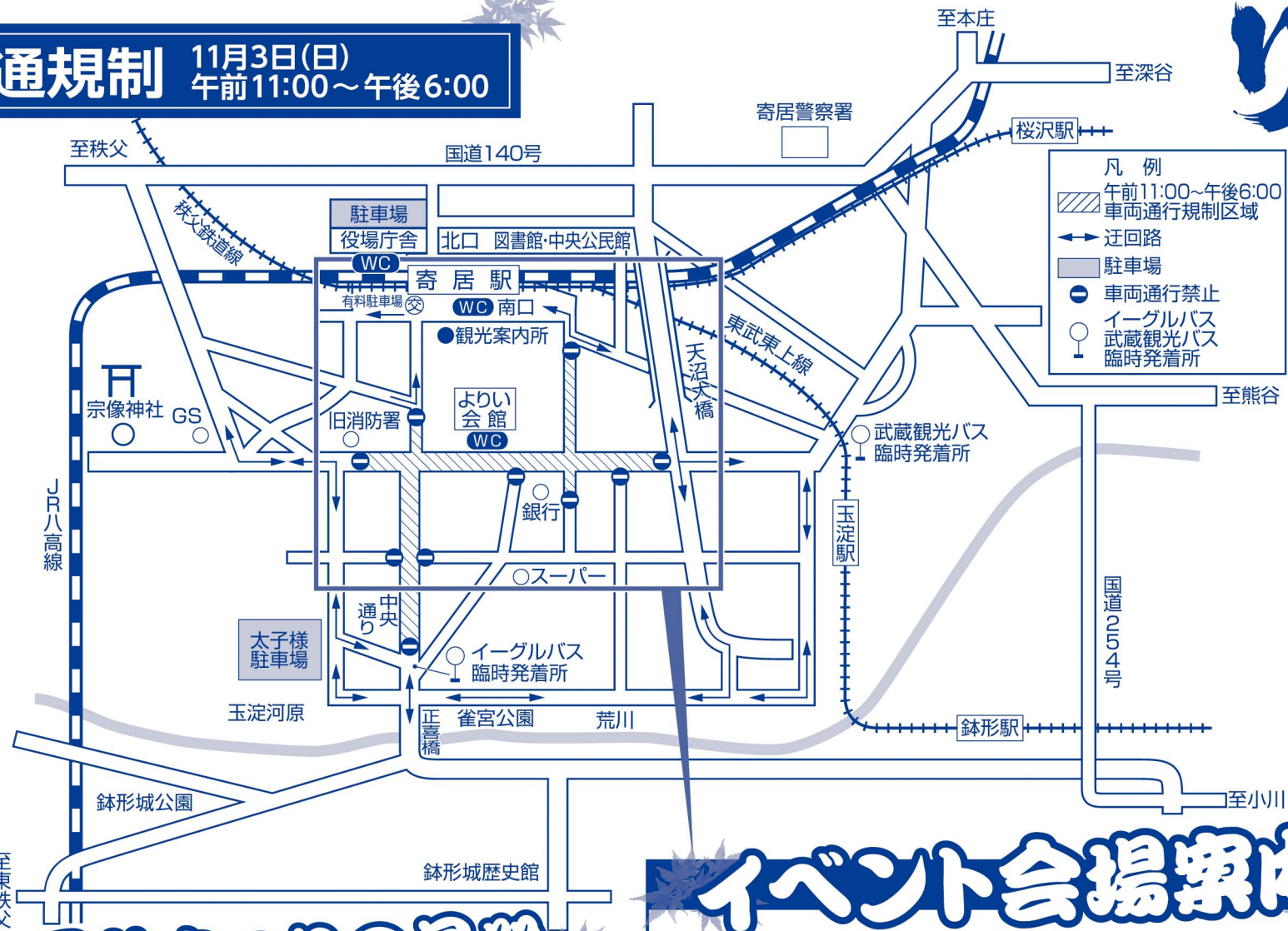


一本柱型で、他の山車とほぼ同じ構造をしているが、最上部は高覧のつく露盤ではなく笠が載る笠鉾。笠からは、放射状に花がさがり、その上には万度が載る。

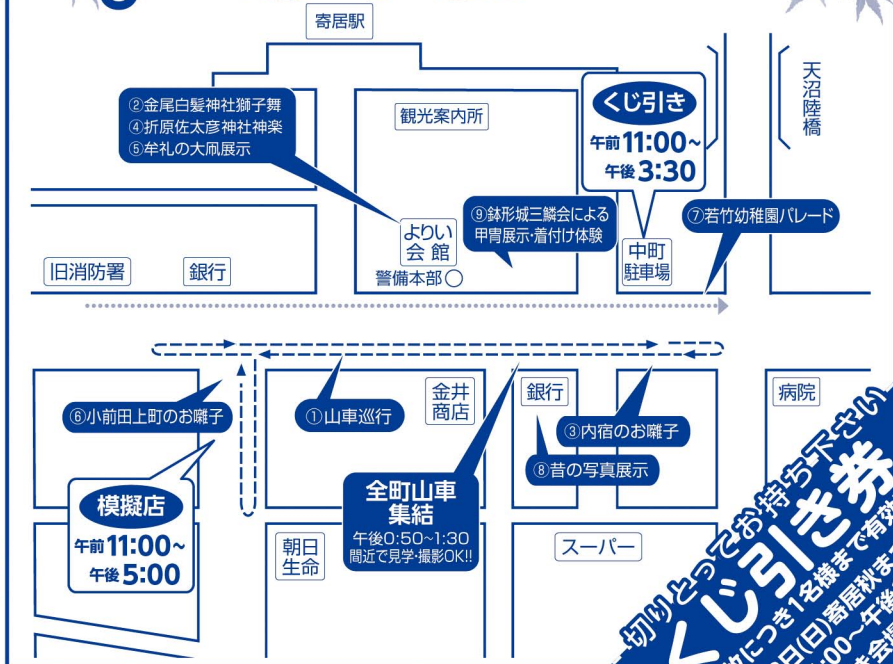


宮本と同様に一本柱構造で、最上部に笠が載る笠鉾。現在は一層の笠の上に、神を飾り曳き回されるが、かつては三層の笠が載る笠鉾だったと伝わる。

交通規制 11月3日(日)
午前11:00～午後6:00



イベント会場案内



寄居秋まつりの見処

見処!! ① 山車巡行 時間 午前11:00～午後3:30	見処!! ② 金尾白髪神社獅子舞 時間 午後0:10～午後1:20
見処!! ③ 内宿のお囃子 時間 午後0:15～午後3:30	見処!! ④ 折原佐太郎神社神楽 時間 午後1:20～午後2:30
見処!! ⑤ 竿舁の大風展示 常設	見処!! ⑥ 小前田上町のお囃子 時間 午後0:15～午後3:30
見処!! ⑦ 若竹幼稚園パレード 時間 午前11:40～午後0:30	見処!! ⑧ 昔の写真展示 常設
見処!! ⑨ 鉢形城三鱗会による甲冑展示・着付け体験 時間 午前10:00～午後4:00	

切符とらでお持ち下さい
11月3日(日)寄居秋まつり
午前11:00～午後3:30
くじ引き会場にて
素敵なプレゼントと
引き換え